

## 平成 24 年 6 月 4 日 厚生委員会（意見表明）

○小林委員 私も、この本請願につきまして意見を申し上げさせていただきます。

私は、本年三月十九日の厚生委員会におきまして、慢性疲労症候群について質問をさせていただきました。その際にも申し上げましたが、過去の都議会の議事録で、この疾病についての質疑が確認できたのは、平成四年三月十八日の衛生労働経済委員会における公明党の曾雌久義議員の質問でありました。以来二十年が経過をしましたが、ここ最近では、この疾病を取り上げたテレビ、新聞も多く見られます。また、私が確認できただけでも、本年三月時点で、慢性疲労症候群の支援を求める意見書を採択した議会は、都内では、豊島区、東久留米市、三鷹市、また、奈良県、栃木県、青森市、相模原市、十和田市、宇都宮市でありました。今後、厚生労働省も、慢性疲労症候群という名を冠した研究班を発足させるとも聞き及んでおります。

請願者である慢性疲労症候群をともに考える会の篠原代表ともお話をさせていただきましたが、身体的苦しみとともに、正しく社会的認知が進んでいないがための偏見による心の苦しみも大変多く抱えておられます。

請願の理由にも記されている、慢性疲労症候群の正しい認知を広めることが、今、大切ではないかと考えます。その意味において、国の研究の進展を見守りつつ、今でき得ることを前進させるためにも、本請願については、趣旨採択を求めたいと思います。

以上です。